信仰によって歩む

人ではなく、神に信頼する――エリーシャの「ではまたねメッセージ」

ホープチャペル所沢

「ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。…あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。…まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」（マタイ6:25､27､33、新改訳2017）

序

多くのことが変化しています。法律や政治、教会の理解、そしてその中にいる人々もそうです。変化は一つの分野に限らず、私たちの目に映る場所すべてに起こっています。これらの変化により、クリスチャンを含む多くの人々は、この移ろいゆく世界で自らの信仰と目的に疑いを持っているかもしれません。今日はいくつかの聖書箇所を通して励ましを受け、私たちの信仰を新たにし、全ての理解を越える平安を得て、信仰によって歩んで行きましょう。

1. 信仰によって語る

ｱ）シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの神（詳しくはダニエル3章を読みましょう。）

ｲ）「　　」の神←あなたの名前（ピリピ4:13を思い出しましょう。）

2. 信仰によって行う

ｱ）エステルの動き（詳しくはエステル記を読みましょう。）

ｲ）信じる人の動き

3. 信仰によって歩む

ｱ）理解による力（ピリピ4:7）

ｲ）神になるのではなく、神に信頼する（箴言3:5）

私たちの祈りと学び、話し合いと実践のために

1. シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの話で、最も印象に残っていることは何ですか？
2. エステルの話で、最も印象に残っていることは何ですか？
3. あなたにとって、イエス様はどのようなお方ですか？

20180603hctj